

問1 人の（ ）を取ってばかりいないで協力しよう。（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 手足 2. 地足 3. 素足 4. 揚げ足

問2 困っている友人の話に（ ）を貸す。（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 鼻 2. 口 3. 耳 4. 目

問3 「腰が重い」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 彼はいつもやるべきことに 2. 重いものを持ったせいで腰 3. 腰が重いので、椅子に深く 4. 荷物が重すぎて腰が重い状
対して腰が重い。 が重い。 座り直した。 態だ。

問4 「口を酸っぱくする」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 梅干しを見て口を酸っぱく 2. 先生は宿題を出すよう、口 3. 彼は口を酸っぱくして飲み 4. レモンを食べて口を酸っぱ
して笑った。 を酸っぱくして言った。 物を飲んだ。 くした。

問5 「絵に描いた餅」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 絵に描いた餅のように、お 2. 絵に描いた餅を額縁に入れ 3. 実現不可能な計画は、まさ 4. 絵に描いた餅を食べてお腹
いしそうな絵だった。 て飾った。 に絵に描いた餅だ。 を壊した。

問6 彼は合格するために裏で（ ）を回していた。（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 足 2. 手 3. 首 4. 腰

問7 周りの人に（ ）を配る優しい人だ。（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 気 2. 耳 3. 手 4. 足

問8 「目が泳ぐ」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. プールで泳いでいるとき、 2. 水中で目を泳がせて、遠く 3. 海で目を泳がせて、魚を探 4. 問い詰められて、彼は不安
彼は目を泳がせた。 の景色を見た。 す練習をした。 そうに目を泳がせた。

問9 「歯が立たない（相手が強くてかなわない）」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 転んで口をぶつけたので、 2. 強豪校との試合では、全く 3. 歯みがきをサボっていた 4. 虫歯が痛くて、歯が立たな
歯が立たなくなった。 歯が立たなかった。 ら、歯が立たなくなった。 い。

問10 相手の（ ）を探るような質問は失礼だ。（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 背 2. 腕 3. 足 4. 腹

問11 「歯に衣着せぬ」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 彼女は歯に衣着せぬ物言い 2. 歯に衣着せぬ服を着て、 3. 寒かったので、歯に衣着せ 4. 歯に衣着せぬように、しっ
で、周囲を驚かせた。 パーティーに出た。 めように厚着をした。 かり歯を磨いた。

問12 「根に持つ」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 根に持つほど深く穴を掘っ 2. 植物の根に持つと栄養がよ 3. ささいな失敗をいつまでも 4. 重い荷物を根に持つように
て埋める。 く吸収される。 根に持つ。 運ぶ。

問13 「手に負えない」の意味はどれですか？

1. 相手との勝負に負けて悔し 2. 相手の要求をすべて受け入 3. 相手をうまくコントロール 4. 相手の勢いや性質が強すぎ
い思いをする れてしまう して動かす て、どうにも処理できない

問14 「胸に秘める」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 冷たい風が吹いたので、胸 2. 胸に秘めていた重い荷物を 3. 将来の夢を胸に秘めて、毎 4. 秘密を胸に秘めて、大きな
に秘めて温まった。 地面に置いた。 日努力を続けている。 声でみんなに話した。

問15 「閑古鳥が鳴く」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 駅前の商店街は、最近客足 2. 森の中で閑古鳥が鳴く声を 3. 閑古鳥が鳴くほど、この店 4. 朝早くから閑古鳥が鳴い
が遠のき閑古鳥が鳴いてい 聞きながら散歩をした。 は毎日大行列ができています。 て、近所迷惑になっている。

問16 「足を洗う」の意味はどれですか？

1. 泥遊びをして足をきれいに 2. 悪い仲間や仕事から縁を切 3. 過去の失敗を反省して謝る 4. 長い旅から帰ってきて休む
する る



慣用句(中級)プリント22 答え合わせ・解説

問1 答え 4 揚げ足

「揚げ足を取る」の「揚げ足」の部分が入ります。意味は「相手の言い間違いや失言を捉えてからかう」です。

問2 答え 3 耳

「耳を貸す」の「耳」の部分が入ります。意味は「相手の意見や相談を親身になって聞く」です。

問3 答え 1 彼はいつもやるべきことに対して腰が重い。

「腰が重い」の正しい使い方は「彼はいつもやるべきことに対して腰が重い。」です。意味は「物事に対して意欲的でなく、なかなか行動に取りかかろうとしない」です。

問4 答え 2 先生は宿題を出すよう、口を酸っぱくして言った。

「口を酸っぱくする(口を酸っぱくして～する)」は、「同じことを何度も繰り返し注意する・言う」という意味の慣用句です。そのため「宿題を出すよう、口を酸っぱくして言った」という使い方が正しいです。

問5 答え 3 実現不可能な計画は、まさに絵に描いた餅だ。

「絵に描いた餅」の正しい使い方は「実現不可能な計画は、まさに絵に描いた餅だ。」です。意味は「実際には何の役にも立たないこと」です。

問6 答え 2 手

「手を回す」の「手」の部分が入ります。意味は「目的を達成するために、あらかじめ準備や工作をする」です。

問7 答え 1 気

「気を配る」の「気」の部分が入ります。意味は「あれこれと細かい点まで注意を払う」です。

問8 答え 4 問い詰められて、彼は不安そうに目を泳がせた。

「目が泳ぐ」の正しい使い方は「問い詰められて、彼は不安そうに目を泳がせた。」です。意味は「不安や動揺で、視線が落ち着かない様子」です。

問9 答え 2 強豪校との試合では、全く歯が立たなかった。

「歯が立たない」は「相手の力が強すぎて、かなわない(太刀打ちできない)」という意味の慣用句です。実際に「歯がぐらつかずに立っている」という意味ではありません。

問10 答え 4 腹

「腹を探る」の「腹」の部分が入ります。意味は「相手の考えや本心を知ろうとする」です。

問11 答え 1 彼女は歯に衣着せぬ物言いで、周囲を驚かせた。

「歯に衣着せぬ」の正しい使い方は「彼女は歯に衣着せぬ物言いで、周囲を驚かせた。」です。意味は「相手に遠慮せず、思ったことをげげしく言う」です。

問12 答え 3 ささいな失敗をいつまでも根に持つ。

「根に持つ」の正しい使い方は「ささいな失敗をいつまでも根に持つ。」です。意味は「いつまでも恨みや不満を忘れないでいる」です。

問13 答え 4 相手の勢いや性質が強すぎて、どうにも処理できない

「手に負えない」は「相手の勢いや性質が強すぎて、どうにも処理できない」という意味です。

問14 答え 3 将来の夢を胸に秘めて、毎日努力を続けている。

「胸に秘める」の正しい使い方は「将来の夢を胸に秘めて、毎日努力を続けている。」です。意味は「心の中にしまっておいて、人には言わない」です。

問15 答え 1 駅前の商店街は、最近客足が遠のき閑古鳥が鳴いている。

「閑古鳥が鳴く」の正しい使い方は「駅前の商店街は、最近客足が遠のき閑古鳥が鳴いている。」です。意味は「客が来ず、商売がひっそりとしていて寂しい様子だ」です。

問16 答え 2 悪い仲間や仕事から縁を切る

「足を洗う」は「悪い仲間や仕事から縁を切る」という意味です。